

議会に対する重要な提案について

保科善一郎



〔質問〕白石市議会基本条例において、議会は、市長が提案する重要な計画や政策、事業等について、議会審議における論点情報を整理し、その政策等の水準を高めるため、市長に対し説明を行うよう求めるものとしている。

議員にとって丁寧な説明とは、数年にわたる実績結果や経過説明など、多数の議案審議の前に行政当局が提案説明を行うことであり、議員からの資料請求があれば積極的に資料を提供したほうが効率的で的確な採決が期待されると考える。

研究をしていると思うが、結果の良いデータ、悪いデータもすべて共有し、検討しなければ間違った判断になる可能性が大きくなると考える。

限られた財源の中で、効率の良い政策を実施する責任は、行政当局にも議会にもあるはずである。行政は持っている資料やデータを議会に提供しなければならぬと考える。

そこで現在、懸案事項となっているスパッシュランド休館問題について、休館を必要とする背景を伺う。

〔答弁〕〔市長〕入館者が減少し、維持修繕に多額の費用を要することから、休館の方針を示したものである。

〔質問〕総合計画との関連性、施政方針との整合性について伺う。

〔答弁〕〔市長〕スパッシュランドは「人暮らし環境が活きる交流拠点都市づくり」に貢献してきたと認識している。

しかし、建設から27年が経過し、利用状況や社会状況、財政状況も当時とは大きく変わっていることから、現在の状況を鑑み、総合的に判断する必要があると考えている。

〔質問〕関係する法令及び条例との関連について伺う。

〔答弁〕〔企画情報課長〕本施設は、市民の生涯スポーツや健康増進に貢献していることは十分認識しているが、これは法令に従い行なっているものではない。

また、建設に活用した地域総合整備事業債については、既に償還を完了している。

その他の質問

◎しろいしサンパークについて

第一幼稚園休園に関する「凍結」問題について

高橋 鈍 斎



〔質問〕市立幼稚園アンケートには「休園反対」の署名の結果は市民の声であり、市議会でも多数で可決されたが、いまだ凍結のままというのはなぜなのか。速やかに休園の撤回と園児募集の再開を求める」との意見があるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕議会の請願採決について、多数で可決されたことを受け止め、凍結という結論に至った。

凍結という意味は、第一幼稚園休園の計画を現時点で中断し、総合教育会議や教育委員会での検討を踏まえた上で適切に判断していくことである。

〔答弁〕〔教育長〕アンケートを拝見し、今回の休園の進め方について「もう少し時間が欲しかった」という意見も寄せられたことから、今後とも丁寧な説明を行いながら進めていきたい。

また、いただいた意見を今後の幼児教育の充実に生かしていきたいと考えている。

〔質問〕休園凍結の措置、これは休園そのものを凍結するとも受け取れる。これまで2回、総合教育会議が行われ、学識経験者や保護者の意見は十分に聞いたと思う。

今後は新たに第三者委員会を立ち上げ、慎重に議論していく考えはないのか。

〔答弁〕〔市長〕3月に3回目の会議を予定しているため、会議の進捗状況を見て総合的に判断していきたい。

〔答弁〕〔教育長〕総合教育会議には学識経験者や弁護士を招いていることから、改めて第三者委員会を設置する考えはない。

◎スパッシュランドの存続について

〔質問〕スパッシュランドの存続について、9千名以上の署名数をどのようを受けとめているか。

〔答弁〕〔市長〕本施設が果たしてきた役割が非常に大きいことを改めて認識している。現在も継続の可能性を探っているところである。

〔質問〕可能性とはどのようなことか。

〔答弁〕〔市長〕国の関係機関には既に要望を行っており、日本水泳連盟からの支援や民間譲渡、指定管理などさまざまな働きかけをしている状況である。